

「免震」は土地活用の常識じゃなかった。

万が一の時に何が起きるのか。
一九九五年阪神・淡路大震災の一週間後、
私たちは現地を訪れました。

そこで目にした光景は、安全なはずの大きな建物が
いくつも街に横たわっている惨状。

こんな悲劇は二度と起こしてはならない。

たとえ万が一の大地震が起きてても、安全な建物をつくりたい。
私たちはその可能性を免震構造に見出しました。

しかし、賃貸住宅に使用するには、建築コストが課題でした。
それでも免震を普及させたい。その強い思いが原動力となり、
10年の歳月の末たどり着いたのが「高床免震」。

高床にして地面の掘削を最小限に抑えることで、
コストの削減に成功。それが賃貸住宅へ免震を普及させる
大きな一歩となりました。

何十年先までも見すえて

万が一も想定した土地活用を。

その思いにご賛同をいただき、スタートの免震住宅は、
400棟10000戸を受注するに至りました。

なかでも免震賃貸住宅の入住率は98%。
建物だけでなく、賃貸経営も安定させる。

免震で建てる理由は、そこにもあります。

大地震に遭遇した際、ある免震マンションでは、
オーナーが余震で不安がるご近所の赤ちゃんと母親を
室内へ避難させ感謝をされたそうです。

免震が安心できる場所と安全な街をつくりだしています。

おかげさまで免震住宅400棟10000戸 先を見る土地活用 スタート



※1：高床免震はスタートCAMの特許工法です。
※2：2000年3月31日～2017年8月31日時点。免震住宅受注数合計
※3：2017年3月21日時点。スタート管理賃貸住宅。平均入住率



みんなの「安心」を「免震」でささえたい。

STARTS スターツCAM株式会社